

令和7年大船渡市大規模林野火災の被害状況等

(令和7年4月15日現在)

岩手県大船渡市

1

火災対応状況等

■火災発生から鎮火までの経過等

□令和7年2月26日(水)

13:02 火災発生覚知

- ・発生場所 : 赤崎町字合足地内
- ・火災原因 : 不明(調査中)
- ・気象状況等: 強風、乾燥注意報発表中

13:33 市災害対策本部を設置
岩手県に自衛隊派遣を要請



赤崎町字合足地内



末崎町(対岸)からの遠景

2

13：50～ 避難指示発令

※延焼拡大に伴い、順次対象区域を拡大

最大で1,896世帯、4,596人に避難指示（3月1日7時30分）

発令時刻	対象地域	対象世帯・人数
2月26日 13:50	三陸町綾里：打越	
14:00	三陸町綾里：小路、石浜、岩崎、港	
14:20	三陸町綾里：全域	850世帯、2,060人
14:32	三陸町綾里：全域 赤崎町：合足	873世帯、2,114人
2月27日 16:45	三陸町綾里：全域 赤崎町：合足、大立、永浜、清水、長崎、外口、蛸ノ浦	1,340世帯、3,306人 (追加：467世帯、1,192人)
2月28日 18:13	三陸町綾里：全域 赤崎町：合足、大立、永浜、清水、長崎、外口、蛸ノ浦、 宿、後ノ入、大洞、生形、山口、森っこ	1,755世帯、4,263人 (追加：415世帯、957人)
3月1日 7:30	三陸町綾里：全域 赤崎町：合足、大立、永浜、清水、長崎、外口、蛸ノ浦、 宿、後ノ入、大洞、生形、山口、森っこ 三陸町越喜来：甫嶺東、甫嶺西、上甫嶺	1,896世帯、4,596人 (追加：141世帯、333人)

14：40～ 避難所設置

（越喜来小学校、三陸公民館）

※避難指示対象区域の拡大に伴い、順次、市内

各所に避難所（福祉避難所を含む）を設置

14：50 岩手県に緊急消防援助隊
の派遣を要請

□3月5日(水)

降雨、連日の地上・空中からの消火
活動により、火勢弱まる

□3月7日(金)

10：00～ 段階的に避難指示解除

□3月9日(日)

17：00 鎮圧宣言

□3月10日(月)

10：00 避難指示を全て解除



火災対応状況等

□3月14日(金)

16:30 岩手県に自衛隊の撤収を要請

□3月23日(日)

大船渡地区消防組合、市消防団、
県内相互応援隊による現地の総合
的調査を実施（約400人体制）

□4月5日(土)

大船渡地区消防組合による現地確
認調査を実施

□4月7日(月)

16:00～ 空中偵察
(熱源等確認されず)

17:30 鎮火宣言



5

火災対応状況等

■避難状況

□避難所と避難者数

最大避難者数

避難所（12か所） 1,249人

避難所以外 3,061人

計 4,310人

（3月6日18時、3月7日7時時点）

令和7年4月15日17時現在
避難所（2か所）57人

避難所	避難人員	避難車両
福祉の里センター	37人	17台
綾姫ホール	20人	14台
計	57人	31台

避難所以外 136人

計 193人



6

■消火活動の状況

□地上消火活動等(総数)※3月31日時点判明分

○大船渡地区消防組合

294隊 1,324人

○大船渡市消防団

181隊 685人

○県内相互応援隊

694隊 2,090人

○緊急消防援助隊(1都12県)

7,211隊 26,645人

○警察 3,140人(通行規制や警備等)



7

□空中消火活動等(総数)※3月19日時点判明分

○散水消火活動

自衛隊大型ヘリ 98機 (1,302回、6,510kl)

岩手県防災ヘリ 16機 (141回、101kl)

他県・市ヘリ 97機 (818回、376kl)

(1道7県)

計 211機 (2,261回、6,987kl)

○偵察活動等

自衛隊中型ヘリ 45機

岩手県警ヘリ 13機

他県・市ヘリ 26機

計 84機



自衛隊大型ヘリによる海水取水

8

■災害救助法等の適用状況

□災害救助法関係

令和7年2月26日

災害救助法の適用を決定

□被災者生活再建支援法関係

令和7年3月6日

被災者生活再建支援法の適用を決定

□激甚災害法関係

令和7年3月25日

激甚災害の指定を閣議決定（3月28日公布・施行）

9

■他自治体などからの支援

□岩手県、他市町村からの職員派遣

- | | |
|--------------|--------------|
| ○現地連絡員（リエゾン） | ○市対策本部初期対応支援 |
| ○避難所健康相談支援 | ○避難所運営支援 |
| ○罹災証明書交付 | ○義援金受付 |
| ○応急仮設住宅入居対応 | ○物資管理 |
| ○生活再建支援金受付など | |

□岩手県、他市町村、 企業・団体などからの物資支援

- | | |
|-----|----------|
| ○食糧 | ○段ボールベッド |
| ○寝具 | ○パーテーション |
| ○衣類 | ○日用品など |



被害状況

■被害状況

□延焼範囲

約3,370ha

※ 2月19日発生の火災の延焼範囲を除く

□人的被害

死者 1 人 (90代男性)

□家屋等の被害

住家 87棟 (うち全壊 54棟)

非住家135棟 (うち全壊121棟)

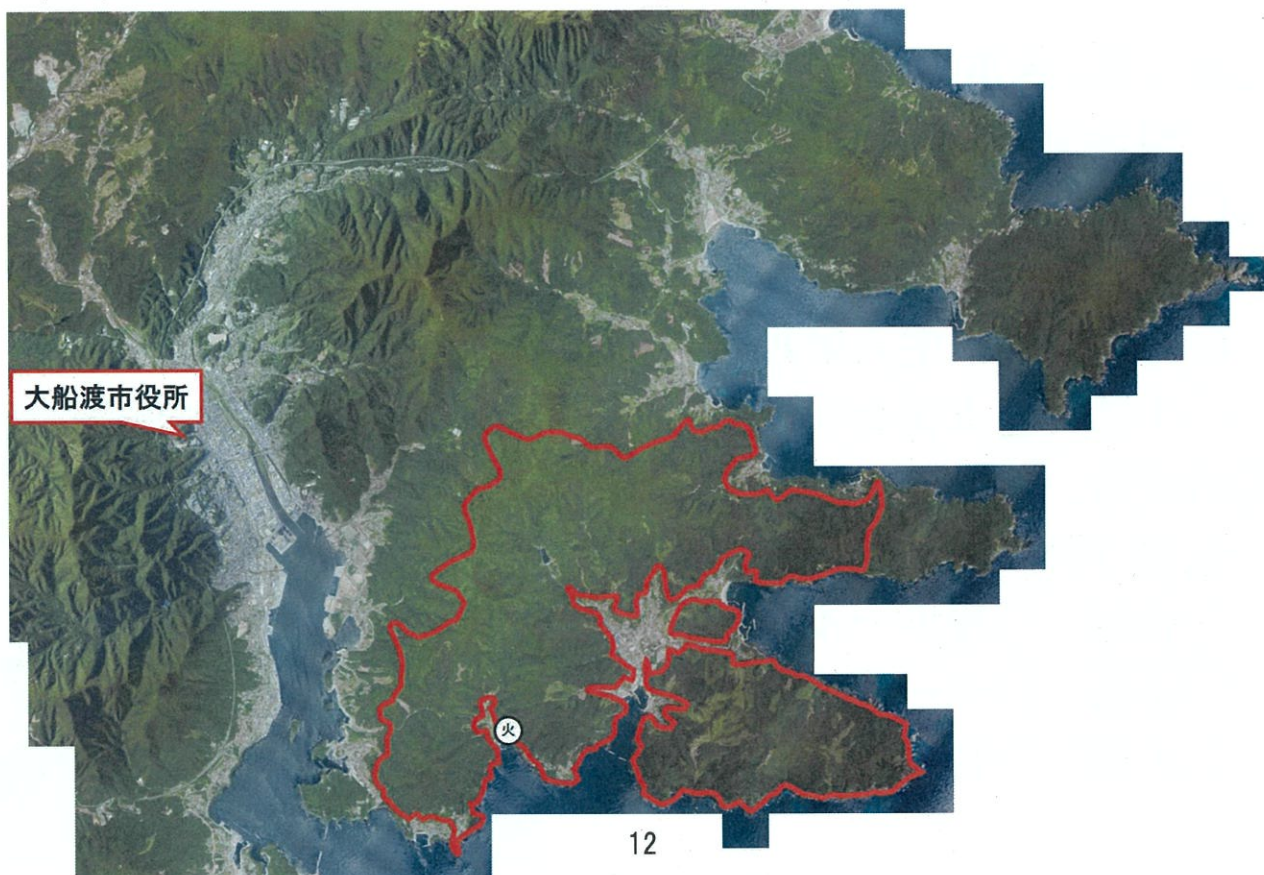
計 222棟



11

被害状況

□延焼エリア(R7.2.26~3.5 延焼範囲:約3,370ha)



12

被害状況

□産業等の被害

○農業関係

ブロイラー1,925羽死亡（1事業者）

被害額約106万円

倉庫焼損（農家16戸）

被害額は調査中

○林業関係

菌床しいたけ栽培施設2棟全焼（1事業者）

施設内の菌床しいたけ栽培用培地8,000個含む

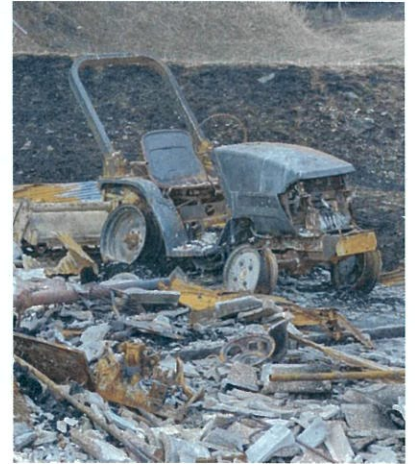
被害額は調査中

林業機械4台全焼（1組合）

被害額は調査中

林道 丸太伏工13m、視線誘導標3本

被害額約25万円



被害状況

□産業等の被害

○水産業関係

水産業共同利用施設（1組合）

定置漁業用倉庫1棟全焼 被害額約4億412万円

ウニ荷捌施設の貯水槽、配管焼損 被害額約1,962万円

ふ化場倉庫1棟全焼 被害額約120万円

定置網4セット（2か統）焼失（1組合）

被害額約7億円

漁協組合員倉庫、漁具等焼失（63組合員）

被害額約5億180万円

養殖アワビ事業者（1事業者）

養殖アワビ約250万個へい死

給水設備焼損、資材置場全焼

被害額は調査中

漁港内の照明灯1基破損

被害額約25万円



被害状況

□産業等の被害

○商工・観光業関係

建物焼失、設備・機械損失、在庫廃棄等（19事業者）
 予約キャンセルや避難指示期間中の売上減（42事業者）
 被害状況は継続して調査中

□その他の被害

○情報通信基盤等

テレビ共同受信施設の損傷（7施設）
 被害額は調査中

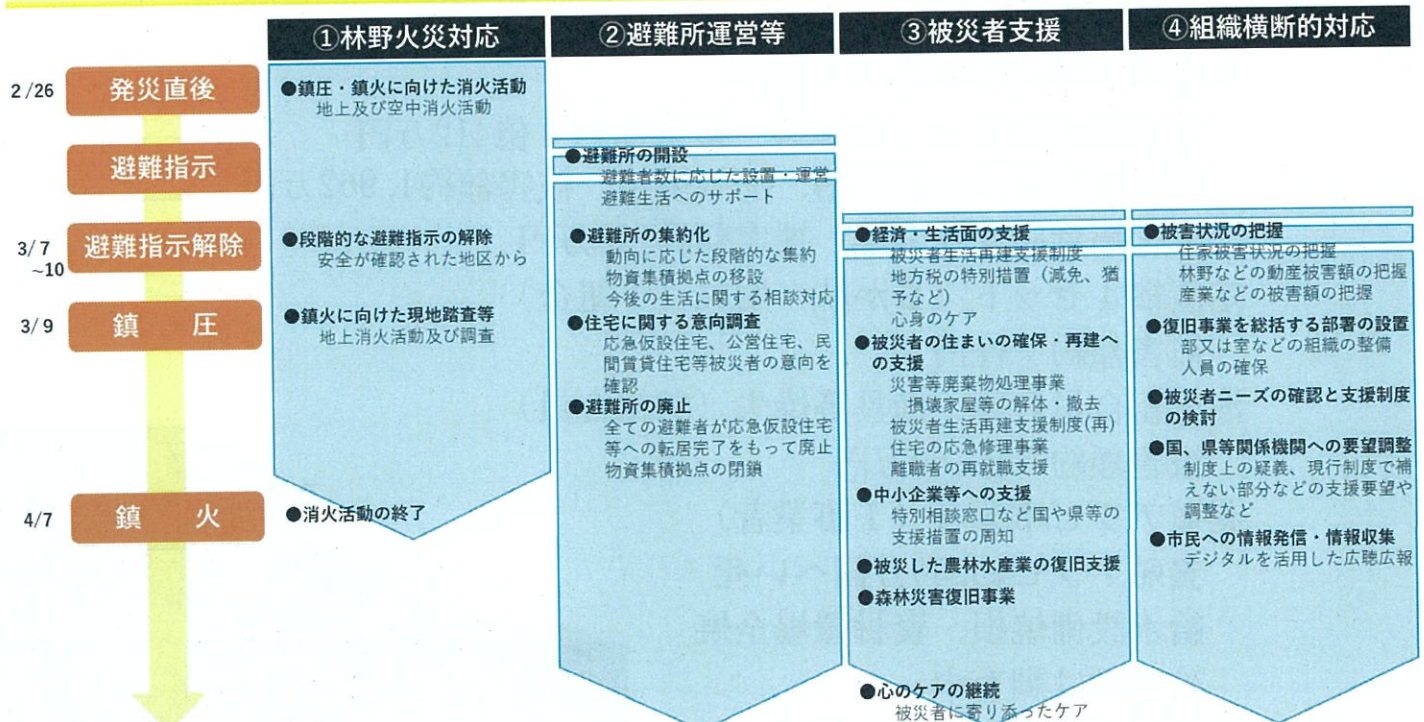
○公共交通関係

鉄道施設（橋梁排水施設、枕木、キロポスト等）の損傷
 被害額約95万円
 鉄道の代行バス運行費（避難指示に伴う運転見合わせ）
 被害額約316万円

15

今後の取組の方向性

令和7年大船渡市大規模林野火災に係る市の取組の方向性



今後の取組の方向性

①林野火災対応

□消火活動の終了

- 車両広報等予防活動の継続

②避難所運営等

□避難所運営等

- 避難所運営、避難生活へのサポート

□避難所の集約化

- 避難所の集約化、物資集積拠点の移設
- 今後の生活に関する相談対応等

17

今後の取組の方向性

□住宅に関する意向調査

- 応急仮設住宅、公営住宅、民間賃貸住宅等
被災者の意向を確認

□避難所の廃止

- 全ての避難者が応急仮設住宅等への転居完了
をもって廃止
- 物資集積拠点の閉鎖

③被災者支援

□経済・生活面の支援

- 生活再建支援
- 地方税等の特別措置
- 心身等のケア
- 災害ボランティアの活動

18

今後の取組の方向性

□被災者の住まいの確保・再建への支援

- 災害廃棄物の早期処理
- 応急仮設住宅の整備
- 住宅の応急修理等

□中小企業等への支援

- 県等と連携し、市独自の支援策を検討

□被災した農林水産業等の復旧支援

- 被害状況の早期全容把握
- 県等と連携し、国事業の活用に向けた調整

□森林災害復旧事業

- 被害状況の早期全容把握
- 県の治山事業による対策の検討
- 県等と連携し、災害復旧事業の実施に向けた調整

19

今後の取組の方向性

④組織横断的対応

□被害状況の把握

- 住家、産業等被害の把握

□復旧事業を総括する部署の設置

- 林野火災対策局による総合調整等

□被災者ニーズの確認と支援制度の検討

- 市独自支援策等の早期取りまとめ

□国、県等関係機関への要望調整

- 既存の枠組を超えた支援策、財源確保、補助事業に係る技術的支援等の要望

□市民への情報発信・情報収集

- 記者会見の対応
- 住宅再建、なりわい再生等に係る情報発信
- 生活支援情報の配布

□その他

- 災害義援金の配分調整
- 災害見舞金、ふるさと納税等の活用検討

